われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。

# いさお新聞

発行所　〒703-8272
岡山市中区奥市3-22　岡山県遺族連盟
電話代表　086-271-7175
ＦＡＸ　086-271-4815
郵便振替岡山01230-9-3532
発行責任者　岸本清美
編集責任者　豊島始男
印刷所　西尾総合印刷株式会社
定価（郵税共）年額1,200円
ホームページ http://izoku-okayama.jp/

## 第51回全国戦没者追悼式
## 終戦から六十八年平和への誓い新たに

終戦から六十八年目の夏、「戦没者を追悼し平和を祈念する日」である八月十五日に天皇皇后両陛下をお迎えして政府主催の第五十一回全国戦没者追悼式が日本武道館で執り行われた。

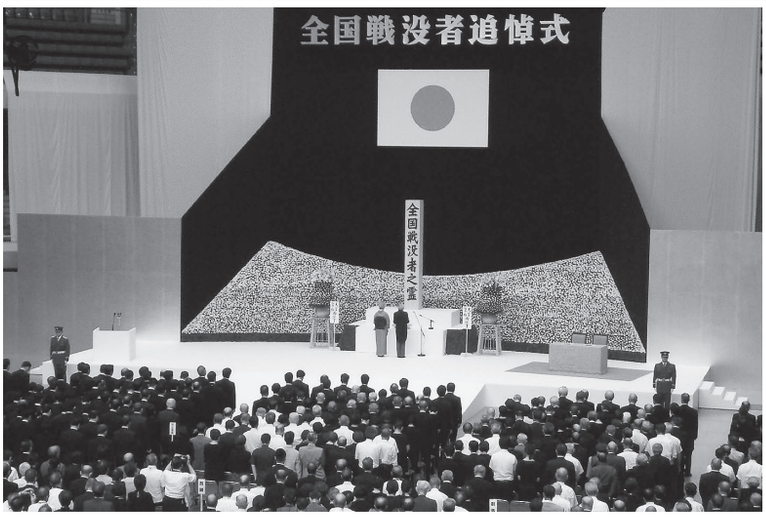
式典には戦没・戦災遺族代表約四千七百人、安倍晋三内閣総理大臣ほか各界代表ら千四百人が参列し、先の大戦で戦没された軍人・軍属約二百三十万人、戦災等民間犠牲者約八十万人の御霊の冥福をお祈りすると共に世界平和への誓いを新たにした。

岡山県からの参列遺族代表は、最高齢で代表献花者である美咲町の戸田博福さん（83歳）をはじめ総勢八十六名。終戦から六十八年の歳月が流れ、昨年に続いて戦没者の妻の参列はなかった。

遺族代表は式典前日の十四日朝、新幹線で上京し、宿舎となる都内のホテルで説明会に臨み式典本番に備えた。

六十八年前の夏と同様、式典当日は朝から晴天となり、猛暑の中、全国から参集した遺族代表と共に会場となる北の丸公園の日本武道館に入場した。

定刻の午前十一時五十分、アナウンスにより参列者全員が起立し天皇皇后両陛下をお迎えした。




国歌を斉唱後、安倍晋三内閣総理大臣が壇上に進み、「私たちは歴史に対して謙虚に向き合い、学ぶべき教訓を深く心に刻みつつ、希望に満ちた国の未来を切り拓いて参ります」と式辞（全文別掲）を述べた。

そして、天皇皇后両陛下が祭壇に進まれ、正午の時報を合図に御霊に一分間の黙祷を捧げた。

天皇陛下から〝おことば〟を賜った後、伊吹衆議院議長、山崎参議院議長、竹﨑最高裁長官の追悼の辞に続いて、夫を奄美大島沖の海上で亡くされた遠矢みち子さん（九十二歳／東京都遺族連合会副会長）が、全国戦没者遺族を代表して追悼のことばを捧げた。

次いで、安倍総理をはじめ各党・各界代表に続いて各都道府県参列遺族代表が献花を行い、兄・昇さんをフィリピンで亡くされた戸田博福さんが岡山県遺族を代表して祭壇中央に白菊を捧げ、御霊の冥福をお祈りした。

また、当日は岡山県内でも平和祈念式などの慰霊行事が行われたほか、県下各市町村役場では半旗の掲揚と共に、職員が正午の時報にあわせて黙祷を行った。

更に、岡山県護國神社で行われた〝終戦の詔書奉戴・日本興隆祈願祭〟へ約百六十人が参列したほか、十五、十六日の二日間にかけて行われた護國神社〝萬燈みたま祭〟では、岡山連合婦人会による奉納盆踊りなどが催され、国難に殉ぜられた郷土出身戦没者五万六千七百十八柱の御霊をお慰めした。

岡山県遺族代表献花者
戸田博福さん（美咲町）

## 全国戦没者追悼式　式辞

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、戦没者の御遺族、各界代表多数の御列席を得て、全国戦没者追悼式をここに挙行いたします。

祖国を思い、家族を案じつつ、戦場に倒れられた御霊、戦禍に遭われ、あるいは戦後、遠い異郷に亡くなられた御霊の御前に、政府を代表し式辞を申し述べます。

いとしい我が子や妻を思い、残していく父、母に幸多かれ、ふるさとの山河よ、緑なせと念じつつ、尊い命を捧げられた、あなた方の犠牲の上に、いま、私たちが享受する平和と繁栄があります。そのことを片時たりとも忘れません。

御霊を悼んで平安を祈り、感謝を捧げるに言葉は無力なれば、いまは来し方を思い、しばし瞑目し、静かに頭を垂れたいと思います。

戦後わが国は、自由、民主主義を尊び、ひたすらに平和の道を邁進してまいりました。

今日よりも明日、世界をより良い場に変えるため、戦後間もない頃から、各国・各地域に支援の手を差し伸べてまいりました。

内にあっては、経済社会の変化、天変地異がもたらした危機を、幾たびか、互いに助け合い、乗り越えて今日に至りました。

私たちは、歴史に対して謙虚に向き合い、学ぶべき教訓を深く胸に刻みつつ、希望に満ちた国の未来を切り拓いてまいります。世界の恒久平和に、能うる限り貢献し、万人が、心豊かに暮らせる世を実現するよう全力を尽くしてまいります。

終わりに、いま一度、戦没者の御霊に平安を、ご遺族の皆様にはご健勝をお祈りし式辞といたします。

平成二十五年八月十五日

内閣総理大臣　安倍晋三

# 「戦没者を追悼し平和を祈念する日」
# 超党派議連二百二人が靖國神社に参拝

## 安倍内閣の三閣僚も

「戦没者を追悼し平和を祈念する日」である八月十五日の午前、超党派でつくる「みんなで靖國神社に参拝する国会議員の会（会長・尾辻秀久参議院議員／日本遺族会会長）」の衆参国会議員二百二人がそろって靖國神社に参拝し、社に鎮まる御霊に感謝の誠を捧げた。

安倍内閣の閣僚では新藤義孝総務相、古屋圭司国家公安委員長、稲田朋美行政改革担当相の三人が個別に参拝したほか、自民党からは野田聖子総務会長、高市早苗政調会長がそろって参拝した。また、個別には小泉進次郎自民党青年局長、維新の会の石原慎太郎共同代表が参拝を行っている。

安倍晋三総理は参拝を見送ったが玉串料を奉納。玉串奉納について官邸で記者団に質問された安倍総理は「国のために戦い、尊い命を犠牲にされたご英霊に対する感謝の気持ちと尊崇の念の気持ちを込めて奉納させていただいた」と述べ、参拝については「政治問題、外交問題に発展していくという観点から申し上げない考えだ」と答えた。

議連の尾辻秀久会長は参拝後「中韓両国から批判されることが全く理解できない」と述べると共に、「（玉串料を奉納された）安倍総理の配慮に感謝申し上げたい」と記者団の質問に答えた。

また、参拝した三閣僚も「日本人として犠牲にされた英霊に哀悼の誠を捧げた。よその国からの批判や干渉を受けるものではない（古屋国家公安委員長）」として参拝は当然との認識を示した。

昇殿参拝を行った議連国会議員
（８月15日：靖國神社）

「戦没者を追悼し平和を祈念する日」である八月十五日に超党派で参拝された衆参国会議員は次のとおり。

（党派別・敬称略）

### 議員本人参拝

**▼衆議院71人**

**【自民党】**秋葉賢也、穴見陽一、池田佳隆、石川昭政、井上貴博、今津寛、うえの賢一郎、衛藤征士郎、大西英男、大野敬太郎、奥野信亮、梶山弘志、勝沼栄明、菅野さちこ、岸信夫、小島敏文、小林史明、今野智博、桜井宏、櫻田義孝、島田佳和、白須賀貴樹、新谷正義、高市早苗、高鳥修一、竹下亘、竹本直一、田中英之、田中良生、土屋正忠、東郷哲也、豊田真由子、中川郁子、長坂康正、中谷元、中谷真一、西川京子、根本幸典、野中厚、平沢勝栄、堀内詔子、前田一男、町村信孝、三ツ林裕己、務台俊介、武藤容治、簗和生、山口泰明、山田賢司、山本有二、渡辺博道

**【民主党】**大串博志、鷲尾英一郎

**【日本維新の会】**今村洋史、岩永裕貴、上西小百合、坂元大輔、杉田水脈、高橋みほ、田沼隆志、中丸啓、西田譲、西野弘一、**平沼赳夫**、松田学、松野頼久、三木圭恵、村岡敏英、山田宏、山之内毅

**【みんなの党】**青柳陽一郎

**▼参議院　32人**

**【自民党】**赤池誠章、有村治子、磯﨑仁彦、岩城光英、宇都隆史、江島潔、大野泰正、**尾辻秀久**、北村経夫、熊谷大、佐藤信秋、佐藤正久、山東昭子、塚田一郎、中原八一、二之湯武史、羽生田俊、藤川政人、丸山和也、三木亨、**水落敏栄**、三原じゅんこ、山谷えり子

**【民主党】**金子洋一、小見山幸治、芝博一、羽田雄一郎

**【日本維新の会】**清水貴之、中山恭子、東徹

**【みんなの党】**江口克彦、和田政宗

### 議員代理参拝

**▼衆議院　78人**

**【自民党】逢沢一郎**、青山周平、赤澤亮正、**阿部俊子**、甘利明、石破茂、今村雅弘、上杉光弘、江藤拓、大塚高司、大見正、小里泰弘、金子一義、金子恭之、神山佐市、川崎二郎、菅家一郎、神田憲次、城内実、木村太郎、小池百合子、國場幸之助、後藤田正純、小松裕、佐々木紀、佐田玄一郎、左藤章、塩崎恭久、塩谷立、柴山昌彦、鈴木淳司、高木毅、武井俊輔、田中和徳、棚橋泰文、谷川弥一、田野瀬太道、津島淳、土屋品子、寺田稔、冨岡勉、永岡桂子、中村裕之、中山泰秀、西村明宏、西村康稔、鳩山邦夫、林田彪、平井たくや、ふくだ峰之、藤丸敏、藤原崇、古川禎久、星野剛士、細田健一、保利耕輔、松本純、三ツ矢憲生、三原朝彦、宮内秀樹、宮崎政久、宮澤博行、村上誠一郎、望月義夫、八木哲也、山口俊一、山本公一、山本拓

**【日本維新の会】**重徳和彦、西岡新、藤井孝男、松浪健太、村上政俊

**【無所属】**伊吹文明、長崎幸太郎

**【みんなの党】**中島克仁

**【生活の党】**鈴木克昌

**【新党大地】**鈴木貴子

**▼参議院　21人**

**【自民党】**青木一彦、井原巧、衛藤晟一、大家敏志、木村義雄、関口昌一、豊田俊郎、中泉松司、中曽根弘文、中西祐介、野村哲郎、橋本聖子、舞立昇治、松村祥史、松山政司、宮沢洋一、山本一太、山本順三、若林健太、脇雅史

**【日本維新の会】片山虎之助**

参拝後、記者会見する尾辻議連会長と
水落同事務局長

## お詫び

行事多端により編集が間に合わないため、本紙八月号を休刊とさせていただきます。ご迷惑をおかけしました購読者の皆様方に深くお詫び申し上げます。

編集者

# 「岡山の塔」戦没者追悼式/沖縄戦跡慰霊巡拝参加者募集

岡山県遺族連盟では毎年、県補助事業により沖縄本島南端・摩文仁地区に建立されている「岡山の塔」において「沖縄並びに南方諸地域岡山県出身戦没者追悼式」を執り行い、国難に殉ぜられた戦没者の御霊をお慰めいたしております。

平成25年度は10月31日㈭から２泊３日の日程で沖縄県内の各戦跡地を巡り、11月１日㈮には糸満市「岡山の塔」に岡山県及び沖縄県当局関係者のご臨席をいただき岡山県出身戦没者追悼式を挙行いたします。

苛烈な戦いの中、無念にも古里への帰還叶わず倒れられた郷土出身戦没者をお慰めし、感謝の誠を捧げたいと存じますので、多くの皆様方のご参加をいただきます様ご案内申し上げます。

| 月　日 | 巡　拝　日　程 | 宿　舎 |
|---|---|---|
| 10月31日㈭ | 岡山駅西口(６：10)又は岡山空港(７：10)集合 ～ 岡山空港発(８：30) JTA 011 那覇空港着(10：45)～沖縄県護國神社参拝 ～ 昼食(那覇市) ～ 沖縄陸軍病院20号壕(南風原町) ～ 伊原第一外科壕 ～ 沖縄陸軍病院の塔 ～ 魂魄の塔 ～ 宿舎着(17：00)頃 | 那　覇　市<br>沖縄かりゆし<br>アーバンリゾート・ナハ |
| 11月１日㈮ | 宿舎発(８：00) ～ 摩文仁 … 沖縄平和祈念堂・平和の礎・平和の広場・摩文仁海岸 …「岡山の塔」戦没者追悼式(11時開式) ～ 国立沖縄戦没者墓苑(慰霊祭) ～ 昼食(糸満市) ～ 嘉数高台公園・がま洞窟(普天間基地) ～ 西原IC ～ 宿舎着(16：30)頃 | 恩　納　村<br>沖縄かりゆし・ビーチリゾート・オーシャンスパ |
| 11月２日㈯ | 宿舎発(９：00) ～ 万座毛 ～ お菓子御殿(読谷) ～ 昼食(残波岬) ～ 嘉手納基地経由 ～ 浦添の塔・浦添城跡 ～ 識名園 ～ 泡盛ギャラリー ～ 那覇空港発(18：25) JTA 016 岡山空港着 (20：15) ～ 岡山駅西口(21：00)頃 | |

◎参加経費　48,000円也（遺族会会員お一人経費）
上記以外の方は10,000円の追加経費でお受けいたします。

◎申 込 先　県遺族連盟まで／住所、氏名、年令、性別、電話番号、戦没者との続柄、戦没者の氏名、戦没場所、集合希望場所（岡山駅西口又は岡山空港）をお知らせ下さい。

◎申込締切　10月１日㈫（第一次締切）　◎募集人員　60名程度

※上記日程は交通機関等の都合により変更になる場合があります。

# 「遺児の巡拝」参加者募集

厚生労働省から補助を受けて日本遺族会が実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」（遺児の巡拝）の平成二十五年度事業計画概要については、本紙四月号(一一七六号)で皆様にお知らせし、既に岡山県から関係遺児の方々が亡き父との対面を果たされている。

この事業は「一度は亡き父の戦没地を訪れ慰霊をしたい」との戦没者遺児の願いを受けて平成三年から実施している事業で、戦没者の遺児であれば参加できます。既に事業を終えた地域、申し込みを締め切った地域を除く平成二十五年度の訪問地は別掲のとおりです。関係地域の遺児の皆様の参加をお待ちしています。

**▼地域及び時期等**　別掲実施概要参照。

**▼参加費**　九万円
※集合場所までの移動にかかる国内交通費及び帰国当日に交通機関等により帰宅できない場合の宿泊費等は個人負担です。

**▼その他**
①参加する地域における班の決定は日本遺族会で行います。
②実施地域や実施時期等は、相手国及び交通機関等の事情により変更・延期、又は中止となる場合がありますので予めご了承願います。

**▼お申し込み**　岡山県遺族連盟まで。

| 実施地域 | 実施期間 | 募集人員 | 申込締切 |
|---|---|---|---|
| ソロモン諸島 | 平成25年<br>11月９日～11月16日 | 20人 | ９月24日 |
| フィリピン(１次) | 平成25年<br>11月20日～11月27日 | 120人 | 10月４日 |
| ミャンマー・<br>ベトナム(１次) | 平成25年<br>11月29日～12月８日 | 60人 | 10月15日 |
| 台湾・バシー海峡 | 平成26年<br>１月16日～１月22日 | 15人 | 12月２日 |
| 東部ニューギニア<br>(２次) | 平成26年<br>２月１日～２月８日 | 34人 | 12月17日 |
| ミャンマー・<br>インド(２次) | 平成26年<br>２月12日～２月21日 | 60人 | 10月11日<br>(インド)<br>12月27日<br>(ミャンマー) |
| フィリピン(２次) | 平成26年<br>３月５日～３月12日 | 120人 | １月21日 |
| 中国(２次) | 平成26年<br>３月20日～３月28日 | 60人 | ２月５日 |
| (特定地域) | | | |
| ビスマーク諸島 | 平成26年<br>２月１日～２月８日 | 36人 | 12月17日 |
| 西部ニューギニア | 平成26年<br>２月３日～２月12日 | 36人 | 12月19日 |
| マーシャル・<br>ギルバート諸島 | 平成26年<br>３月15日～３月23日 | 36人 | 11月15日 |

平成25年９月吉日

## ご遺族様

岡山県戦没者顕彰会会長 渡辺　英気

謹啓　初秋の候　ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、恒例の岡山県戦没者秋季慰霊祭を下記により執り行いますので、万障お繰り合わせのうえご参列下さいますようご案内申し上げます。

なお、東山電停より護國神社の間を、無料バスにより送迎を行いますので、多数ご参列下さいます様お願いいたします。

敬具

記

１．日　　時　10月５日㈯10時～11時30分（雨天に拘わらず執行）
※10月６日㈰は護國神社秋季慰霊大祭が10時から執り行われます。

２．祭　　場　岡山市中区奥市３－21　岡山県護國神社

３．協賛行事

| 10月５日 | 10月６日 |
|---|---|
| 備中神楽(午前９時から／舞楽殿) | 備中神楽(午前９時から／舞楽殿) |
| 吉備舞　華道展 | 詩　吟　吉備舞 |
| 詩吟舞 | 華道展　銃剣道 |

１．神社前広場は大変混雑しますので、ご参拝の際は市内電車・バス等、公共交通機関をご利用下さい。

２．公共交通機関を利用してご参拝の方は、下記により無料送迎バスを運行していますのでご利用下さい。
＊運行区間　東山電停 ～ 表参道鳥居前 ～ 護國神社間
＊運行時間　午前９時～12時（約10分間隔）

３．ご参列の方には１人に１個、記念品を差し上げます。

４．ご希望の方には後楽園・博物館入場券（５、６日のみ有効）を差し上げます。

５．参列に際しましては、祭儀終了時まで会場にご臨席いただきます様お願いいたします。

全国戦没者追悼式に参列した岡山県遺族代表の皆さん
（８月15日：日本武道館）

## 妹弟へ

陸軍伍長　赤井稔命
昭和十九年九月二十一日
比島ルソン島バロールにて戦死
鳥取県米子市大工町出身
十九歳

千代枝。元気で勤めて居る事と思ふ。俺も元気で居る。安心してくれ。愈々出発だ。喜んでくれ。

此の上は、専心御奉公致す覚悟である。千代も大人になった。母上様をよく手伝って御安心をさせてあげてくれ。

俺の分も兼ねて孝養を尽すのだぞ。若い者の陥り易い短所としてと言へば解るだらう。決して其の様なまねはするなよ。

一から十まで孝養だ。それから博の面倒をよく見てやれよ。仲良く暮すのだ。お前が病気したら、母上様の苦労は大きなものだ。

体を大切に、孝養を尽くせ。

千代枝殿

兄

博。元気で勉強の事と思ふ。

俺も愈々南方で活躍するから安心せよ。体を丈夫にして、よく勉強して立派な者になるのだ。高等科一年生にもなれば、物事の善悪も知って居る事と思ふ。此の事をよく弁（わきま）へて、よく遊びよく勉強しなさい。母上様に孝養を、俺の分も尽す様、確かに申付けます。

姉さんの言ふ事をよく聞ひて、体を大切にしっかり勉強しなさい。

兄より

博へ

（原文のまま）

【平成二十五年九月靖國神社社頭掲示】

## 遺族会の動き

### 平成二十五年八月行事表

1日　県連盟正副理事長会議（県連盟会議室）
15日　戦没者を追悼し平和を祈念する日
全国戦没者慰霊大祭（靖國神社）
全国戦没者追悼式（日本武道館）
終戦の詔書奉戴日本興隆祈願祭（県護國神社）
県護國神社萬燈みたま祭（県護國神社）16日まで
県連盟外国地域戦跡慰霊巡拝（西部[ニューギニア方面]六泊
23日～31日　県連盟第一回財政問題特別委員会（県連盟会議室）

### 平成二十五年九月行事表

1日　津山市遺族連合会靖國神社団参（東京方面）二泊
8日　総社市遺族連合会靖國神社団参（東京方面）一泊
9日　県戦没者秋季慰霊祭準備委員会（いさお会館）
12日　中・四国ブロック遺族会会議（高知県）一泊
13日　瀬戸内市遺族連合会女性部長会議（邑久町中央公民館）
16日　「敬老の日」県連盟老人福祉事業／一人暮らしの父母・妻慰問（県下）
17日　県連盟老人福祉事業／百歳ご遺族お祝（県下）三日間
19日　赤磐市遺族連合会靖國神社団参（東京方面）一泊
20日　高梁市成羽地区遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）
24日　旧岡山陸軍墓地秋季彼岸祭（岡山市津高・旧陸軍墓地）
25日　玉野市戦没者追悼式（玉野市総合体育館）
高梁市川面地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
28日　県連盟第二回財政問題特別委員会（県連盟会議室）
浅口市戦没者追悼式（浅口市中央公民館）
岡山市藤田地区戦没者慰霊祭（藤田神社忠魂碑）

### 平成二十五年十月行事表

5日　県戦没者秋季慰霊祭（県護國神社）
6日　県護國神社秋季慰霊大祭（県護國神社）
10日　新見市神郷地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
11日　倉敷市戦没者追悼式（倉敷市民会館）
津山市戦没者追悼式（津山総合体育館）
18日　笠岡市陶山地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
新見市菅生地区戦没者慰霊祭（菅生遺族会館）
20日　新見市哲西地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
21日　赤磐市戦没者遺族大会（赤磐市立中央公民館）
22日　新見市熊谷地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
23日　総社市戦没者追悼式（総社市民会館）
26日　新見市石蟹郷地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
27日　新見市新見地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
28日～31日　県連盟沖縄地域戦跡慰霊巡拝／「岡山の塔」戦没者追悼式（沖縄県）二泊